

平成 30 年度 公益財団法人富山県体育協会事業報告（案）

本県のスポーツの普及・振興や競技力向上の推進母体として、加盟団体及び関係機関と連携し、次の諸事業を展開した。

I 法人運営

(1) 諸会議等の開催

事業の適時適切な推進を図るため、次のとおり諸会議等を開催した。

会議名		回数	期 日
評議員会		1回	平成30年6月4日（月）
		2回	平成31年3月29日（金）：書面審議
理事会		1回	平成30年5月17日（木）
		2回	平成30年5月31日（木）：書面審議
		3回	平成30年6月4日（月）
		4回	平成30年11月8日（木）
		5回	平成31年3月15日（金）
		6回	平成31年3月22日（金）：書面審議
専 門 委 員 会	総務委員会	1回	平成30年5月17日（木）
		2回	平成30年7月6日（金）：書面審議
		3回	平成30年11月8日（木）
		4回	平成31年3月15日（金）
	普及委員会	1回	平成30年7月6日（金）：書面審議
		2回	平成30年11月14日（水）
	強化委員会	1回	平成30年4月12日（木）
		2回	平成30年7月6日（金）：書面審議
		3回	平成30年8月10日（金）
		4回	平成30年12月18日（火）
		5回	平成31年3月28日（水）
	スポーツ医・科学委員会	1回	平成30年7月6日（金）：書面審議
		2回	平成31年3月25日（月）

(2) 各種スポーツ関係団体の功労者及び優秀選手等の表彰

永年にわたり本県のスポーツ振興に貢献し、その功績が顕著と認められた者や本県のスポーツの向上に尽力し、その成績が特に優秀な団体及び個人を平成 30 年 11 月 28 日（水）に表彰した。

種 類	受賞者・受賞団体数	
特別表彰	個人 37 名	団体 8 団体
国体表彰	個人 11 名	団体 10 団体
感 謝 状	個人 29 名	
特別感謝状	個人 1 名	
計	個人 78 名	団体 18 団体

(3) 創立 90 周年記念式

創立 90 周年を迎えたことを記念して、平成 30 年 11 月 28 日（水）、ホテルグランテラス富山において記念式（兼平成 30 年度公益財団法人富山県体育協会表彰式）及び記念祝賀会（兼加盟団体懇親会）を開催した。

(4) 競技団体への経理指導

競技団体への経理について、より適切に事務処理を行うため、適宜顧問税理士による経理指導を行った。特に、富山県ホッケー連盟ほか 8 団体については、平成 30 年 11 月 27 日（火）、29 日（木）、30 日（金）の 3 日間、税理士等により会計諸帳簿（現金出納簿や領収書等）検査などの個別指導を実施した。

II 公益目的事業

1. スポーツ普及振興事業

県民が生涯にわたりスポーツに親しめるよう、健康レベル・体力レベルに応じた事業を展開した。各事業の実施については、専門性を有する理事等による専門委員会及び特別委員会を構成し、意見等を反映しながら、各分野の資格を有する当協会の職員が中心となって各事業を企画・立案し、関係団体と連携を図りながら事業を行った。なお、指導者のスポーツ指導における暴力の根絶に向け、本協会が実施する各種研修会等あらゆる機会を通して、周知徹底を図った。

(1) 県民のスポーツ振興及び広報啓発事業

① スポーツに関する広報啓発事業

各種イベントや行事予定など、スポーツに関する情報を広く県民に周知するために、次の広報誌等を作成するとともに、だれでも必要な情報等を簡単に検索できるよう、親しみやすいホームページの充実を図った。

ア. 広報誌の発行

名 称	発行部数	配布先	発行回数	発行元
体協 TOYAMA	2,330 部/回	加盟団体、市町村教委、アスリート卒業生ほか	年 1 回	県 体 育 協 会

スポーツパレス便り	2,500部/回	市町村関係団体、県立学校ほか	年11回	県総合体育センター
ジムワールド	3,000部/回	呉西地区県立学校、近隣企業ほか	年12回	県西部体育センター
HEALTH SWIM in TAKAOKA	2,600部/回	県立学校、近隣企業ほか	年4回	県高岡総合プール
スポーツリーダーとやま	2,000部/回	公認スポーツ指導者、加盟団体、市町村教委ほか	年1回	県公認スポーツ指導者協議会

イ. インターネットを利用した情報発信

各種スポーツ情報ネットワークの中核として、機能の充実を図った。

(ア) 本会HP上での各種スポーツ情報の発信

(イ) 地域スポーツ団体やスポーツ指導者パスネットとやまの情報発信

(ウ) メールを利用したスポーツに関する情報（JISSや日本体育協会等）の発信

(エ) 上記(ア)～(ウ)と、スポーツ情報ネットワーク《県委託事業：県総合体育センター》を活用し、本県の各種スポーツ情報の充実を図った。

② エンジョイスportsサポート事業

地域住民の誰もが参加できるスポーツ活動に対し助成を行い、スポーツに対する興味・関心を高めるとともにスポーツ人口の拡大を図った。

実施市町村	実施事業	参加者数
富山市 ほか11市町村	指導者研修会 ほか13事業	2,920名

③ 生涯スポーツ推進事業

県民が生涯にわたり、明るく豊かで、活力ある生活を営むために、それぞれの興味、関心、適性等に応じてスポーツを生活の中に位置づけ、主体的にスポーツ活動を楽しむことができる環境づくりの推進を図った。

ア. 巡回指導 6回

イ. 研修会の開催

期 日	内 容	参加者数
平成30年8月4日(土)	地域スポーツ指導者研修会(実技) ほか2講座 〔参加対象者〕 市町村スポーツ関係団体 地域スポーツ関係者 スポーツ指導者パスネットとやま登録者	42名
平成30年9月1日(土)	地域スポーツスキルアップ研修会(座学) ほか1講座 〔参加対象者〕 市町村スポーツ関係団体 地域スポーツ関係者	24名

ウ. 「スポーツ指導者パスネットとやま」登録者の指導状況調査、登録更新案内を送付

(2) 県民体育大会開催事業

広く県下にスポーツを普及・振興し、県民の健康と体力の増進並びに競技力の向上を図り、明るく豊かな県民生活の創造に寄与するため、次のとおり開催した。

① 第71回富山県民体育大会（夏季競技）

季	競技	期日（中心会期）	会場	参加者数
夏季	陸上競技 ほか42競技	平成30年7月28日（土） ～7月30日（月）	富山市 ほか8市4町	23,250名

大会成績 （二部郡市対抗）	区分	1位	2位	3位
	一般	富山市	高岡市	射水市
	中学	富山市	高岡市	砺波市

② 第72回富山県民体育大会（冬季競技）

季	競	期日	会場	参加者数
冬季	スケート	（フィギュア） 平成30年11月24日（土）	富山スケートセンター	42名
	アイスホッケー	平成30年10月9日（火） ～10月27日（土）	富山スケートセンター	115名
	スキー	（クロスカントリー） 平成31年1月19日（土） ～1月20日（日）	たいらクロスカントリーコース	603名
		（ジャイアントスラローム） 平成31年1月18日（金） ～1月20日（日）	たいらスキー場	
		（スペシャルジャンプ・コンバインド） 平成31年1月19日（土） ～1月20日（日）	立山シャンツェ及び あわすの平クロスカントリー	
		（フリースタイル） 平成31年3月10日（日）	立山山麓スキー場極楽坂エリア	
（スノーボード） 平成31年3月10日（日） 3月16日（土）	IOXアローザスキー場			
合 計				

(3) スポーツ指導者の養成

① スポーツ指導員養成講習会開催事業

県民のスポーツニーズが多様化する中で、専門性をもった指導員の養成が望まれているところであり、（公財）日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度の資格取得講習会を開催し、資格保持者の資質向上を図るため、次の研修会を開催した。

ア. 日本スポーツ協会公認指導者養成講習会

資格名	科目	競技名	会場	参加者数
指導員	専門科目	ソフトテニス	富山県総合体育センター ほか	19名

イ. 富山県公認スポーツ指導者研修会

期 日	内 容	会 場	参加者数
平成30年11月10日(土)	「報道判例から学ぶスポーツ事故と体罰」 「知っておきたい運動と食事 ～最近の話題も入れて～」	富山大学五福キャンパス	185名

(4) スポーツ少年団育成事業

日本スポーツ少年団が掲げる「一人でも多くの青少年にスポーツの喜びを提供する」、「スポーツを通して、青少年のからだところを育てる」という理念に基づき、本会が設置する富山県スポーツ少年団において、地域社会全体で子どもたちを育て、将来にわたり健全な生活を送れるよう、各種事業を展開した。

① 組織の充実

ア. 組織の整備強化

(7) スポーツ少年団指導者顕彰事業

期 日	会 場	受賞者数
平成31年2月17日(日)	富山県総合体育センター	1町 12名

イ. 活動の充実

(7) 富山県スポーツ少年団競技別総合交流大会

期 日	実施競技	会 場	参加者数
平成30年6月23日(土) ～7月1日(日)	軟式野球競技 ほか 11競技	県総合体育センター ほか12会場	2,793名

(4) 地域交流促進事業

期 日	実施スポーツ少年団	開催地	参加者数
平成30年4月28日(土) ～平成31年2月11日(月・祝)	富山市 射水市 魚津市 氷見市 滑川市(2事業) 南砺市(2事業) 立山町	富山市 長野県千曲市 魚津市 長野県大町市 滑川市 南砺市 長野県長野市	1,445名

(ウ) 母集団育成事業

期 日	実施スポーツ少年団	参加者数
平成30年7月17日(火) ～平成31年2月23日(土)	高岡市・射水市・氷見市・上市町・朝日町	343名

② 指導体制の整備

ア. 各種講習会・研修会

(ア) 第1回ジュニアスポーツフォーラム指導者全国研究大会

期 日	開催地	受講者数
平成30年6月17日(日)	東京都	3名

(イ) 北信越ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会

期 日	開催地	受講者数
平成30年11月10日(土)	富山県	44名

(ウ) 富山県スポーツ少年団指導者研修会

回	期 日	会場・講師・内容	受講者数
第1回	平成30年11月10日(土)	黒部市宇奈月国際会館「セレネ」 静岡理工科大学情報学部 教授 高田寿人 「地域スポーツのあり方」	44名
第2回	平成31年2月17日(日)	富山県総合体育センター JTLボールであそぼう！ トップマイスター 岩屋睦子 「幼少年期のボール遊び」	67名

イ. 日本スポーツ少年団認定員養成講習会

期 日	会 場	受講者数
平成30年12月1日(土)～12月2日(日)	富山大学高岡キャンパス	71名
平成30年12月15日(土)～12月16日(日)	富山県総合運動公園	80名

③ 交流活動の推進

ア. 国際交流の推進

日独スポーツ少年団同時交流

	第45回日独スポーツ少年団同時交流	
	派遣事業	受入事業
期 日	平成30年7月30日(月) ～8月17日(金)	平成30年7月30日(月) ～8月3日(金)
開催地	ドイツ連邦共和国	氷見市
人 数	3名	12名

イ. 全国的・地域的交流の推進

(ア) 全国交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
平成 30 年 8 月 3 日 (金) ~ 平成 31 年 3 月 31 日 (日)	ホッケー競技 ほか 2 競技 1 交流会	富山県 ほか 3 県	105 名

(イ) 北信越ブロック交流大会

期 日	実施競技	開催地	参加者数
平成 30 年 7 月 7 日 (土) ~10 月 28 日 (日)	ミニバスケットボール競技 ほか 4 競技 1 交流会	石川県 ほか 2 県	81 名

2. スポーツ強化推進事業

国民体育大会や全国大会等で優秀な成績を収めることは、県民に大きな夢と感動を与え、「元気とやま」の創造に資するものである。このことから、国民体育大会をはじめ、全国や世界の檜舞台上で活躍できる選手の育成を目指し、関係団体と連携を図りながら、合宿・遠征事業をはじめ各種強化事業を実施し競技力向上に努めた。

(1) 県民の競技力向上の推進

① 国民体育大会等開催事業

ア. 第 39 回北信越国民体育大会

国民体育大会の主旨に則り、その予選会として北信越地域の人々に広くスポーツを普及し、スポーツ精神の高揚を図り、健康増進と体力向上を目指し、併せて 4 県の親睦と交流を深めるとともに、地方のスポーツ振興及び文化の発展に寄与することを目的として開催された。

(ア) 大会概要

会 期	早期開催 平成 30 年 5 月 5 日 (土・祝) ~ 8 月 19 日 (日) 中心会期 平成 30 年 8 月 24 日 (金) ~ 26 日 (日)
開催地	新潟県下 11 市 3 町 石川県 1 市 富山県 1 町
実施競技	カヌー競技 ほか 30 競技
参加人数	選手・監督 691 名 本部・顧問 17 名 計 708 名

(イ) 選手団等

塩谷 雄一 団長 ほか 707 名

第 73 回国民体育大会本大会ブロック代表数 58 代表獲得

イ. 国民体育大会

第 73 回大会の本大会は福井県で開催され、男女総合成績(天皇杯)は 22 位であった。また、第 74 回冬季大会スケート競技は北海道釧路市で、スキー競技は北海道札幌市で開催され、冬季大会終了時点で、男女総合成績は 22 位である。

(ア) 大会概要

回	季		期 日	開催地 (参加者数)	成 績
73	本 大 会	会 期 前	平成 30 年 9 月 9 日 (日) ～ 9 月 17 日 (月・祝) (水泳競技ほか 3 競技)	福井県 (511 名)	入賞数※ 78 優勝 ハンドボール競技 バドミントン競技 ボート競技 ウエトリフティング 競技
		中 心 会 期	平成 30 年 9 月 29 日 (土) ～ 10 月 9 日 (火) (陸上競技ほか 33 競技)		
74	冬 季 大 会	ス ケ ー ト	平成 31 年 1 月 30 日 (水) ～ 2 月 3 日 (日)	北海道釧路市 (8 名)	入賞数※ 12
		ス キ ー	平成 31 年 2 月 14 日 (木) ～ 2 月 17 日 (日)	北海道札幌市 (67 名)	

※競技別総合成績を含む

(イ) 選手団等

本大会 石井 隆一 団長 塩谷 雄一 副団長 ほか 509 名

冬季大会

・スケート競技会 米山 隆 団長 ほか 7 名

・スキー競技会 田畑 裕明 団長 ほか 66 名

② 競技力向上事業

ア. 国体へ向けた選手強化

(ア) 合宿・遠征事業

強化指定選手等の強化を図るため、県内合宿・県外遠征・県外優秀チーム招へいを計画的に実施した。

(イ) 強化指定事業

選手指定：少年種別 41 競技 671 名 成年種別 41 競技 495 名 計 1,166 名

スタッフ指定：41 競技 総監督 26 名 各種別監督 110 名 コーチ 75 名 計 211 名

(ウ) アドバイザー・トレーナー招へい事業

8 競技に 8 名のアドバイザー、22 競技に 24 名のトレーナーを招へいし、国体期間中及び合宿・遠征等で指導を受け、県内指導者の資質の向上と本県選手の競技力向上を図った。

(エ) 選手強化対策補助事業

国体での上位入賞を目指し、競技団体ヒアリング等を通じて各競技団体の現状の把握に努め、効率よく強化事業が展開されるよう競技団体との連携を密にした。また、競技団体強化担当者が、各種全国大会等での競技力調査を実施し、本県の戦力分析や優秀選手の発掘に努めた。

イ. 将来に向けた優秀選手の育成

(ア) 元気とやまスポーツ道場開催事業

中学校や高等学校の有望な逸材を発掘し、県内の拠点スポーツ施設において長期的な展望のもとに育成・強化を図った。

内 容	競技数	参加者数
練習会、講習会	アイスホッケー競技 ほか 17 競技	941 名

(イ) 中学・高校運動部スーパーコーチ派遣事業

全国大会で優勝等の指導経験が豊かなスポーツ指導者を中・高等学校へ派遣し、部活動顧問の指導力及び部活動運営を支援することにより、本県スポーツの競技力向上と運動部活動の一層の充実を図った。

コーチ氏名	指導部活動	派遣校	指導回数
石川 春樹	バレーボール	高岡商業高等学校 ほか 2 校	828 回
橘川 謙三	柔道	小杉高等学校 ほか 3 校	
坂巻 龍雄	ボート	八尾高等学校 ほか 2 校	
飛田 昌広	ホッケー	石動高等学校 ほか 5 校	
金子 龍一	陸上競技	龍谷富山高等学校 ほか 4 校	
山中 茂	スキー	富山市立上滝中学校 ほか 2 校	

③ 未来のアスリート発掘事業

スポーツ能力に優れた児童を見出し、競技団体、学校、家庭と連携を図りながら、将来のスポーツ界を担う人材育成のサポートを行った。

ア. 13 期生（平成 30 年 1 月指定）75 名

(ア) 育成プログラムの実施 12 日

実 施 内 容	実施回数	会 場
「メンタルトレーニング」 大阪体育大学 特任教授 岡澤 祥訓	6 回	富山県総合体育センター 山野スポーツセンター
「スポーツ栄養」 西能病院 管理栄養士 舘川美貴子	3 回	
「コンディショニング」 富山県総合体育センター 山地 延佳	3 回	
「ファルトレクトレーニング」 富山県総合体育センター 柿谷 朱実	2 回	
「コーディネーショントレーニング」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人	7 回	
スポーツ講演会 「夢の実現のために大切なこととは」 総合警備保障株式会社 (ALSOK) 田知本 遥	1 回	
体力測定	1 回	

(イ) 視察研修

期 日	視察場所	参加者数
平成 30 年 12 月 15 日(土)	味の素ナショナルトレーニングセンター	67 名 (引率者 7 名)

イ. 14 期生 (平成 31 年 1 月指定) 73 名

(7) 育成プログラムの実施 4 日

実 施 内 容	実施回数	会 場
「コーディネーショントレーニング」 (一社) コーチングバリュー協会 東根 明人	1 回	富山県総合体育センター
「コンディショニング」 富山県総合体育センター 山地 延佳	2 回	
「スポーツ栄養」 西能病院 管理栄養士 舘川美貴子	1 回	
「スポーツ障害」 新潟県厚生連糸魚川総合病院 山上 亨	1 回	
体力測定	1 回	

ウ. 奨励賞の授与

1 期生から 12 期生の修了生の中で、各種スポーツ大会で活躍し、その功績が顕著と認められた 3 名に「奨励賞」を授与した。

エ. 修了生サポートプログラム

体力測定 2 回 メンタルトレーニング 2 回

オ. 修了生活躍状況の掲示

県総合体育センター正面入口横にボードを設置し、修了生の活躍状況を掲示した。

※現在 14 期生まで累計 876 名 (うち 日の丸をつけた選手 40 名)

④ 競技スポーツ振興事業

小学生、中学生を対象に、スポーツ教室、記録会及び練習会を実施し、競技スポーツに対する興味・関心を高めることにより、競技スポーツ人口の拡大を図った。

内 容	競技数	参加者数
記録・練習会	スケート競技 ほか 34 競技	13,636 名
教 室	スケート競技 ほか 19 競技	8,940 名

⑤ TOYAMAアスリートマルチサポート事業

本県競技力の一層の向上を目指し、各種強化事業と併せ、選手の発育・発達段階に応じた適切で、より効果的な医科学サポートを実施した。

とりわけ、2020年に開催される東京オリンピックを見据え、監督はじめコーチ・スポーツドクター・トレーナー等が連携を図りながら、個々の選手の体力測定結果等に基づくスポーツ医科学的サポートを積極的に展開し、全国や世界の檜舞台で活躍できるアスリートの育成に取り組んだ。

ア. 委員会等の開催

期 日	実施内容	実施回数
平成 30 年 5 月 14 日 (月)	委員会	1 回
平成 30 年 11 月 23 日 (金・祝)	スタッフミーティング	3 回
平成 31 年 2 月 23 日 (土)		
平成 31 年 3 月 16 日 (土)		

イ. サポート内容

カテゴリー毎にサポート選手を指定（19 競技 24 種目 計 761 名）し、メディカルチェック（問診、血液検査、スポーツ障害診断）や体力測定、トレーニング指導、栄養サポート、スポーツメンタルサポート等を行った。また、大会（延べ 94 日）や強化合宿（延べ 74 日）の現場へスタッフを派遣するなど、要望に応じたサポートを行った。

また、新たに女性アスリートサポートプログラムの研修会を実施したほか、大学・関係機関（国立スポーツ科学センター（JISS）やナショナルトレーニングセンター（NTC））との連携、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）と協力し、スノーボードのナショナルチーム選手の体力測定を行うなど、スポーツ医・科学調査・研究を充実させた。

さらに、報告書『HOW TO WIN』や情報誌『スポーツ医・科学的トレーニング情報』を発行するとともに、T-net でのスポーツ医・科学的情報の配信を行った。

ウ. スタッフ研修

県総合体育センター、県西部体育センターや高岡総合プールの当協会プロパー職員を中心に「大会等の帯同時の携行品の確認及び使用法について」や「トレーニング指導等について」の研修会を実施し、資質の向上に努めた。

⑥ スポーツ医・科学研修会等開催事業

ア. アンチ・ドーピング教育・啓発

国体選手を中心としたアンチ・ドーピング教育及び啓発活動の実施を通して薬物乱用や誤用の認識を高めるため、指導者や強化・普及担当者を対象とした講習会を開催し、健全なスポーツ活動を推進した。

期 日	対象者	講 師	会 場	参加者数
平成 30 年 6 月 29 日 (金) ～ 7 月 24 日 (火)	自転車競技ほか 6 競技 平成 30 年度富山県体育協会 強化指定選手等	富山大学 布村忠弘 ほか 4 名	富山県総合 体育センター ほか 6 会場	113 名
内 容	・ドーピングとは・うっかりドーピングとは・検査について・TUE 申請とは等			

イ. 問診票による健康診断

県体育協会が指定する強化指定選手及び国民体育大会選手に対し、問診票による健康状態調査を実施した。

⑦ 全国的大会等開催助成事業

全国的・国際的の大会や日本リーグ等レベルの高い大会への開催運営費を補助した。

実施期間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月
実施競技	高円宮杯 2018 ホッケー日本リーグ ほか 11 大会

⑧ 海外派遣選手激励事業

スポーツをする選手たちに夢と希望をあたえるとともに、スポーツ人口の拡大に繋げることを目的に、国際大会へ日本を代表として出場する選手・監督に激励費を渡した。

国際大会	助成大会	第 18 回アジア競技大会 (インドネシア) ほか 9 大会
	派遣人数	延べ 21 名
	派遣先	インドネシア ほか 7 ヶ国

⑨ スポーツ交流事業

スポーツを通じて、本県と他県又は他国との親善と友好をより一層深めるとともに、交流を通じて、本県のスポーツ振興を図るため県体協職員を派遣した。

期 間	内 容	会 場
平成30年10月28日(日) ～31日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・韓国体育大学校を中心とした競技スポーツ並びに生涯スポーツの実情視察 ・今後の交流の在り方、方向性についての協議 など 	韓国体育大学校 ほか

3. スポーツ施設を活用した各種事業と効率的な管理運営

県民が安全かつ快適にスポーツができるよう県総合体育センターをはじめとするスポーツ施設の環境を整え、県民の生涯スポーツの普及振興を図るとともに、健康・体力・生きがいづくりに寄与するため、次の各種事業を実施した。

(1) スポーツ施設等を活用した各種事業と効率的な管理運営

① スポーツ施設管理運営事業

施設管理業務とスポーツ振興のソフト事業を一体的に推進するとともに、効果的かつ効率的なサービスの提供に努めた。また、スポーツ人口の拡充を図るため、利用者のニーズに合わせた管理運営を実施した。

30年度からは、65才以上を対象としたシニア割引や平日の午前を対象とした朝割のほか、3施設共通利用券を発行し、利用者サービスの向上に努めた。

さらに、高岡総合プールについては、平日の利用時間を7時間から12時間に拡大し、新たな利用者の拡大につなげた。

ア. 県営体育施設

施 設 名	利用人数	利用料金収入額
県総合体育センター	256,288名	47,576,062円
県西部体育センター	165,106名	23,588,366円
県高岡総合プール	98,957名	20,290,338円
県営富山弓道場	11,660名	1,509,650円
県漕艇場	17,998名	1,224,680円
県上市カヌー競技場	1,916名	207,040円
計	551,925名	94,396,136円

イ. 県体協体育施設

施設名	利用人数	使用料収入額（円）
アオイスportsハウストレーニング場	10,858名	1,386,510円
山野Sportsセンター	5,768名	5,412,720円
屋内相撲練習場	2,097名	218,800円
計	18,723名	7,018,030円

(2) 各種Sports教室開催事業

Sportsを始めるきっかけと楽しむことができる場を広く提供するとともに、それらによって作られた自主グループ活動の支援を行うために、次の各種教室を展開した。

Sports教室開催事業の実施状況

施設名	教室	実施回数	延べ受講者数
県総合体育センター	元気 TOYAMA Sports・文化はつらつ塾 ほか3教室	54回	1,121名
県西部体育センター	トレーニング入門教室 ほか7教室	60回	1,055名
県高岡総合プール	初級水泳 ほか36教室	749回	18,396名
県営富山弓道場	弓道教室	97回	1,355名
県漕艇場	ボート体験教室（小学生・一般）	1回	33名
県上市カヌー競技場	カヌー体験教室	1回	2名
計		962回	21,962名

Ⅲ 収益目的事業

本会が管理運営する県総合体育センターほか5施設に自動販売機を設置し、飲料等を提供した。

また、本会の公益目的事業の推進に資するための付随事業として、日頃Sportsに親しみのない県民がSports施設を知っていただくことで、今後のSports活動に拍車をかけるとともに、個々の体力に応じてSportsに親しむ契機になることを期待し、管理運営するSports施設の会議室等を公益目的事業以外で貸与した。